

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伴野区の歴史の継承を目的とした伴野区誌の編纂とDVD作成事業
事業主体 (連絡先)	伴野区地縁団体 0265-35-7220
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	860,000 円

事業内容

伴野区に保管されている資料及び、伴野区内にある神社、寺院に残された、2,000冊以上に及ぶ貴重な文献や資料の整理作業を、一般区民で組織する伴野区誌研究委員会にて行い、誰もが理解できるような伴野区誌の制作を行う。

あわせて、過去何度も崩壊し、住民の命を危険に晒してきた天竜川伴野堤防の開墾に携わった地域の偉人「松尾千振」の功績を記した現存の紙芝居(豊丘村図書館所蔵)をデータ化し、DVDにまとめ、伴野区の先人たちの格闘を伝承することで地域コミュニティの大切さを学習する機会を設ける。区誌の発行やDVDの制作によって地区の歴史を学び、「自分の暮らす地区は自分で守る」という郷土愛の精神を養っていく。



【伴野区誌編纂・研究の様子】  
【目標・ねらい】

- ①江戸時代初期からの古い文献、歴史的資料をまとめて、「伴野区誌」という誰でも手に取れる形にすることで、子ども達に貴重な歴史を継承していく手段とする。
- ②伴野区の先人達の奮闘を「伴野開墾堤防DVD」を用いて伝承することで、地域コミュニティの大切さを伝承する。
- ③地域の安心、安全な暮らしを守るために、地区住民の郷土愛の精神を育む。

事業効果

- ①編纂委員会役員や史学会員、元豊丘村村長等と検討を重ねていく中で、伴野区の沿革に始まり、公民館活動や農地改革等、6つの分野に分けてわかりやすく記載された「伴野区誌」のゲラが完成した。
- ②子どもに伝えるためにどのような表現が適切であるか、イントネーションの専門家も交えた協議を行いながらDVD作成を行った。低年齢でもわかりやすい文になったことで、長く後世に、地域コミュニティの役割と村の貴重な歴史を伝えるための貴重な資料ができあがった。
- ③史学会会員を通じた他の区への周知によって、伴野区以外の区でも、定期総会や祭典の際に、地域コミュニティの在り方、後世への継承の仕方について住民同士で話し合う機会が増えた。

※自己評価【A】

【理由】  
2年計画で進めていく予定の事業であり、本年は伴野区誌編纂のための古い文献や資料の読解とゲラ作成、開墾堤防DVDの作成及び活用が主な事業であった。新型コロナウイルスの影響で活用の機会が縮小されたものの、区民の要望で、歴史研究編纂に携わる講師として集會に呼ばれることや、公益社団法人南信州地域資料センターから、貴重な歴史的資料として、完成後に寄贈してほしいという要望があり、伴野区誌の歴史編纂研究の、村内全体と村外への周知拡散がされつつあるため、今後のさらなる波及、発展が見込まれる。今後は、DVDの活用と、伴野区の歴史のさらなる周知により、コミュニティの大切さを伝えるより一層の機会創出を図る。

今後の取り組み

次年度の活動としては、より多くの人に伴野区の歴史を知ってもらうために、伴野区誌のゲラと、開墾堤防物語DVDを様々な場面で活用していく。

村内の保育施設、教育施設に寄付をしたDVDの歴史研究の授業や保育現場での活用を促し、子どもたちの郷土愛を醸成する一助とする。村内広報でも伴野区の歴史について紹介する枠を設け、村全体を巻き込んで郷土愛の醸成を図っていく。